

# エイケン工業株式会社

2010年10月期第2四半期  
決算説明資料



(証券コード7265)

2010年 6月8日作成

## 会社概要

---

- **社名** : エイケン工業株式会社
- **本社** : 静岡県御前崎市門屋1370
- **資本金** : 601百万円
- **代表者** : 早馬 義光
- **従業員数** : 187名 (平成22年4月末)
- **連結子会社** : 該当なし



# 当社の特徴

## 1. 自動車用フィルター

### a. 一貫生産体制

原材料の加工から組立、梱包、出荷  
金型も製作

### b. 販路が豊富

以下の販路を持つ

同業者（市販フィルターメーカー）  
（Bタイプ・Cタイプ）

商社（カー用品店）

石油元売

SS卸商社

（ガソリンスタンドへの卸商社）

関連販売会社

（同社のVICブランドを販売）

系列メーカー

輸出

## 2. 燃焼機器

a. 低NOx・低COの燃  
焼技術をもつ

b. 高効率熱交換器を開  
発

# 自動車フィルター業界

自動車用フィルター業界は、以下のように分けられる

## 1. 自動車メーカー系列のメーカー (純正)

- 自動車生産ライン装着向け  
(新車組み付け用)
- 自動車メーカー系列のディーラー  
(補修用)

## 2. 市販メーカー (優良)

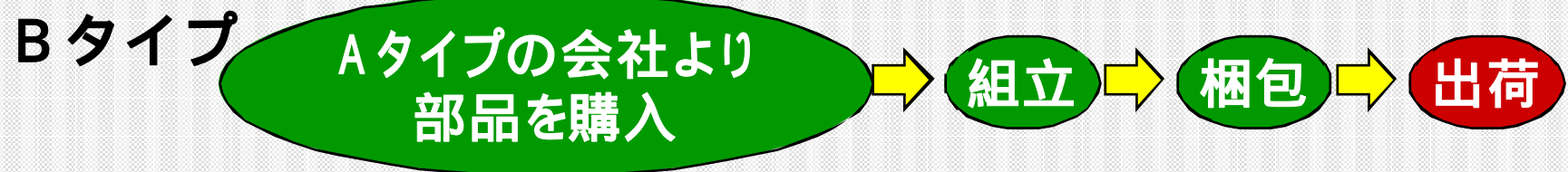
整備工場、ガソリンスタンド、カー用品店  
(補修用)

但し、補修用は、自動車メーカー系列、市販メーカーの境がなくなり、自動車メーカー系列も、第2純正ブランドとして、整備工場、ガソリンスタンド等にも供給している。又、カーディーラーでアフターサービスを積極的に進め、顧客の抱え込みを強化している。

よって、市販メーカーは厳しい状況である。

## 市販フィルターメーカーのタイプ

市販フィルターメーカーは、以下のタイプがある



## 燃烧機器事業（当社変遷）

1. 昭和51年からプレス加工技術を生かして風呂釜用のバーナを製造し、風呂釜製造メーカーに販売。（長府製作所等）
2. 給湯器の開発に取り組む。
3. 炎孔部にセラミックを使った低NO<sub>x</sub>、低CO、低騒音、コンパクトなバーナを開発し、ボイラーメーカー等に販売。（三浦工業等）
4. コインランドリー用のバーナを製造、販売（三洋電機）
5. 平成10年、某厨房機器メーカーと共同で、大手ファーストフード向けフライヤーを開発。（特許取得済み）
6. 東邦ガスと共同で、浸管タイプの熱交換器を使用したフライヤー（据え置型）を開発（平成13年に省エネ大賞、平成14技術賞を受賞）
7. 某厨房機器メーカーの依頼で、フライヤーに使われている熱交換器を利用した蒸し器を開発。
8. 東京ガス、某厨房機器メーカー、大手外食企業の関連会社と共同で、同大手外食企業向け卓上型フライヤーを共同開発。
9. 当社独自で沸騰させずに麺を茹で上げる茹で麺器を開発、販売開始。

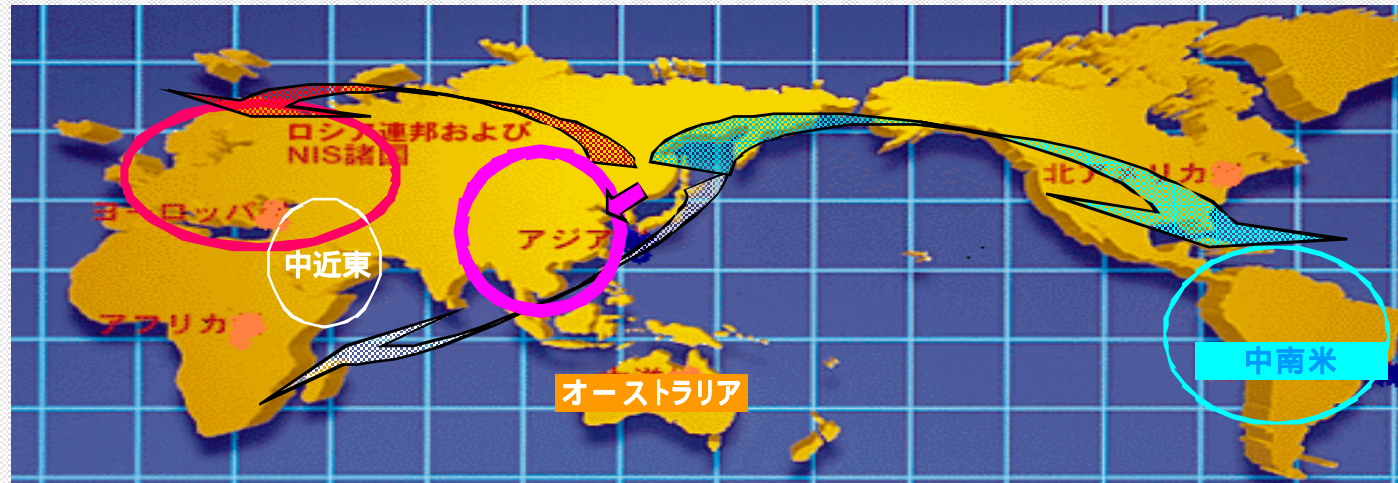
## 部門別販売実績

(単位：百万円)

	2009年10月期 第2四半期		2010年10月期 第2四半期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
フィルター部門	1,925	92.5	2,248	94.6	116.8
国内	1,250	60.1	1,359	57.2	108.7
輸出	674	32.4	889	37.4	131.9
燃焼機器部門	156	7.5	128	5.4	82.1
合計	2,081	100.0	2,377	100.0	114.2



# 地域別輸出売上高



(単位：百万円)

	2009年10月期第2四半期		2010年10月期第2四半期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
ヨーロッパ	266	39.5	293	33.0	110.2
アジア	348	51.7	526	59.2	151.0
その他	59	8.8	69	7.8	116.6
合計	674	100.0	889	100.0	131.9



# 損益計算書（第2四半期）

(単位：百万円)

	09/10実績	10/10実績	前期比(%)
売上高	2,081	2,377	114.2
売上総利益	360 (17.3%)	430 (18.1%)	119.5
営業利益	23 (1.1%)	124 (5.2%)	536.0
経常利益	29 (1.4%)	129 (5.5%)	445.3
当期純利益	3 (0.1%)	86 (3.6%)	2853.2

10/10計画	計画比(%)
2,181	109.0
394 (18.1%)	109.1
99 (4.6%)	124.6
103 (4.7%)	125.8
58 (2.7%)	146.9

## 1. 前期比較

・利益の増加 ---- 売上高の増加、前期が燃焼機器でのクレーム費用、減損損失が発生した。

## 2. 計画比較

・利益の増加 ---- 売上高の増加による。

# キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

科 目	2009年 第2四半期	2010年 第2四半期	増 減
営業活動	183	313	129
投資活動	7	115	107
財務活動	116	93	23
現金及び現金同等物の増加・減少	59	105	45
現金及び現金同等物の期首残高	245	181	
現金及び現金同等物の四半期末残高	305	287	

1. 営業活動の増加

税引前四半期純利益の増加、法人税等の還付額の増加及び法人税等の支払が減少したことによる。

2. 投資活動の減少

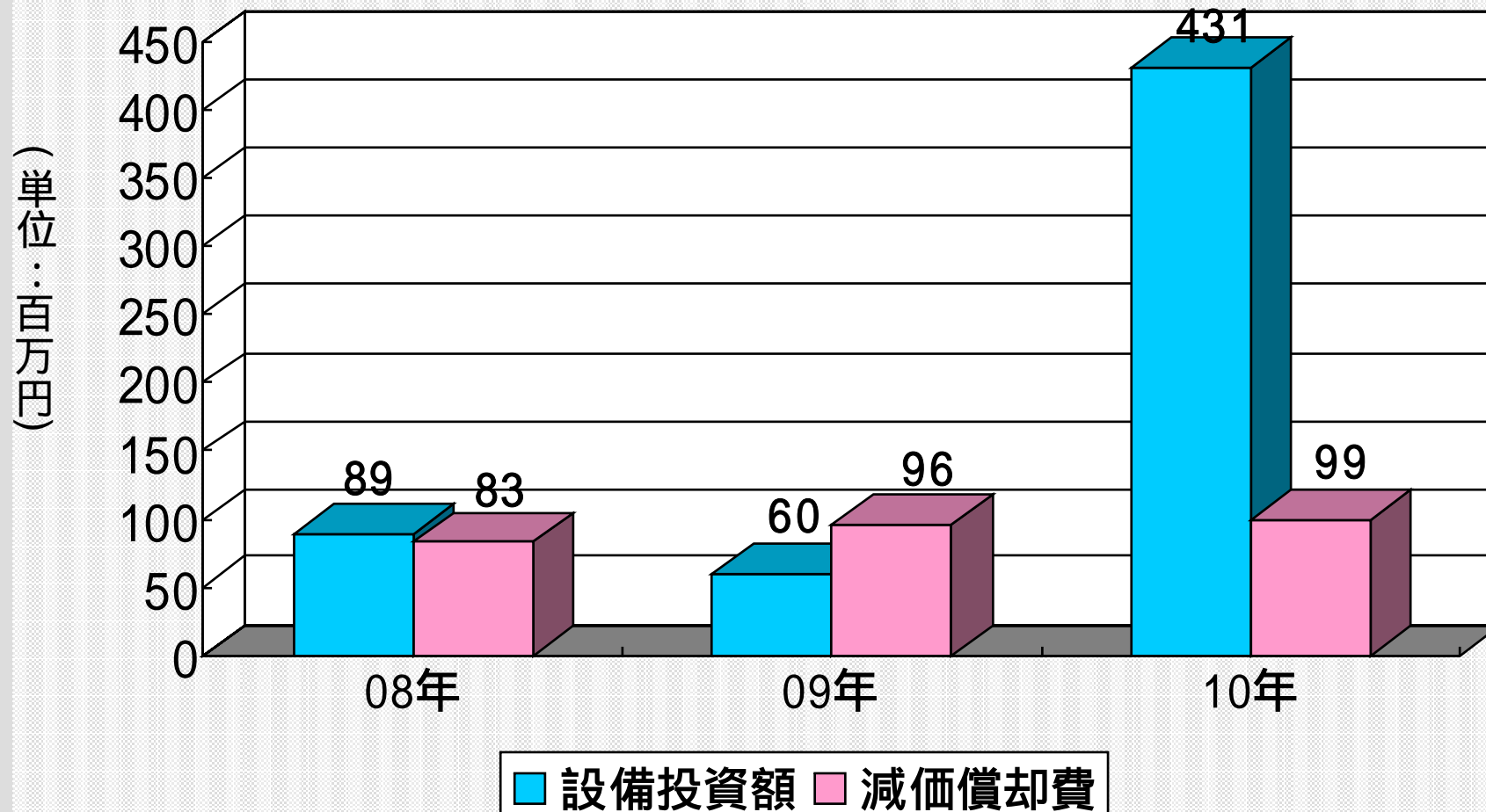
定期預金の預入による支出の増加及び有形固定資産の取得の増加による。

3. 財務活動の増加

配当金の支出額の減少による。



## 設備投資額（第2四半期）





## 部門別販売計画

(単位：百万円)

	2009年10月期実績		2010年10月期計画		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
フィルター部門	4,049	93.2	4,410	94.0	108.9
国内	2,582	59.4	2,800	59.7	108.5
輸出	1,467	33.8	1,609	34.3	109.7
燃焼機器部門	296	6.8	280	6.0	94.5
合計	4,346	100.0	4,691	100.0	107.9



## 利益計画

(単位：百万円)

	2009年10月期(実績)		2010年10月期(計画)		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,346	100.0	4,691	100.0	107.9
売上総利益	799	18.4	855	18.2	107.0
販売管理費	681	15.7	602	12.8	88.4
営業利益	118	2.7	252	5.4	213.9
経常利益	128	3.0	268	5.7	208.5
当期純利益	68	1.6	160	3.4	232.9

## 今後の当社の取り組み（フィルター部門）

---

高性能フィルターの拡販（既存品との差別化）

大型車用フィルターの拡販。（量から質へ）

自動二輪車用燃料フィルター受注を増やす

新規顧客開拓・新製品開発

## 今後の当社の取り組み（燃焼機器部門）

---

熱交換器（浸管）の拡販

各種バーナの拡販

生産コストの低減

# エイケン工業株式会社

会社内容、IR関連など資料のご請求及び、お問い合わせ先

**エイケン工業株式会社**

経営企画管理室

IR情報担当 池田まで

TEL : 0537 - 86 - 3105

FAX : 0537 - 85 - 2033

E-mail :

kikaku@eiken-kk.co.jp

当社のホームページアドレス

<http://www.eiken-kk.co.jp/>

エイケンは、補修用自動車フィルタの市販品NO.1メーカーです。

 **エイケン工業株式会社**

 **「ISO 9001」認証取得**  
(フィルター関係)

**省エネ大賞受賞(平成12年度)**  
省エネルギーセンター会長賞  
(高効率マイコンフライヤー GF-24)

 VICBOYを  
クリックして下さい。

008143

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみには全面的には依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわないようお願いいたします。